

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	<p>(ア) カンボジアにおける地雷処理の中核組織であるカンボジア地雷処理センター(CMAC)に、機械と人力による「統合地雷処理課程」を新設し、CMAC自身による持続的な統合処理教育の基盤を付与するとともに、地雷処理速度の向上に資する。</p> <p>(イ) 地域住民が置かれている生活環境の安全性を向上させるとともに社会資本の整備に資する。</p>
(2) 事業内容	<p>(ア) 「統合地雷処理課程」教育による能力構築支援</p> <p>a 教育体制の推進</p> <p>(a) CMACの課程教育として、今年度 10 月から開設予定である統合地雷処理能力向上を狙いとする「統合地雷処理課程」の教育準備(教育資料の作成、CMACとの調整)を推進中である。</p> <p>(b) 教育を担当する教育本部を編成するとともに、現有する事業編成内の2コ地雷処理小隊を、教育支援する教導小隊(モデル小隊#148)と、教育を受ける機動小隊(被教育小隊#102)に改編し、課程教育を担当できる体制に移行した。</p> <p>※パワーポイントの参考資料</p> <p>b 教育の試行</p> <p>(a) 処理現場における機械処理能力の向上に資する運用研究・開発に並行して「統合地雷処理課程」教育に必要な各種資料を作成・整備中である。</p> <p>(例) 新規に「統合地雷処理マニュアル」をCMACと共同し作成中</p> <p>(b) 教導小隊と機動小隊に対し、逐次、教育予行を実施中である。</p> <p>(例) 今までに毎週1～2回、野外教場において学科教育を実施し、2月からは、処理現場において実習教育へ移行中</p> <p>c 事業外編成の教育</p> <p>(a) 集合訓練</p> <p>CMACと共同して集合訓練を実施して、全カンボジアに展開する地雷処理小隊に対し、更なる技術移転を図ることを狙いとして各DU内の小隊長、班長等50名に対し2月16日～26日の間に実施するとともに、3月9日～19日の間に別の50名に実施する予定</p> <p>(b) CMACと合同の巡回指導</p> <p>CMACと合同で各DU内の小隊等に対し、予定通り5月に巡回指導を実施する予定</p> <p>(イ) 地雷処理</p>

	<p>ランドリリリース方式に基づき、機械処理と人力処理の統合処理実習教育現場のチェンミンチェイコミュニケーションにおいて、実習教育の一環として、年間200haの地雷処理を計画中であり、2月28日現在、96.0haを処理完了した。</p>
<p>(3) 達成された効果</p>	<p>(ア) 現在までに達成された成果</p> <p>(a) 「統合地雷処理課程」教育による能力構築支援</p> <p>1 教育状況の評価</p> <p>教育開始前(2014年10月1日)に個人に対し素養試験を行い、当初の能力を把握した際の平均点は、機動小隊は71点、教導小隊は75点であった。機動小隊には教育修了時(2015年3月25日を予定)、教導小隊には年度終了時に修了試験を実施し、全員が80点以上になるよう能力を向上させ、教育成果を計数的に評価予定。</p> <p>別紙第1 「素養試験成績一覧表」</p> <p>2 教育準備</p> <p>① 教育課目体系表、課目時間配当表、教育スケジュール表及び各教育課目の教授計画を作成した。</p> <p>別紙第2 「教育課目体系表」 別紙第3 「課目時間配当表」 別紙第4 「教育スケジュール表」</p> <p>② 運用マニュアル(教範・教育資料)の制定等に基づく新たなマニュアルを逐次、作成中である。</p> <p>(例)新規に「統合地雷処理マニュアル」をCMACと共同し作成中</p> <p>3 教育予行</p> <p>教育スケジュールに基づき、教育予行に関し現在までに指揮官に対しては学科教育43課目228時間、全員に対しては同8課目88時間、実習教育は班訓練48時間を実施するとともに、3月からは、小隊訓練を20時間実施する予定であり、個人の能力向上を図るとともに、教授計画の一部修正、追加等の見直しを実施し、</p>

教育効果の向上に努める。

※参考資料

4 教官養成

教育本部要員3名を対象に統合地雷処理教育の教官として、逐次、養成中である。将来的には統合処理要領に習熟した指導者を増加し、CMAC全体に統合処理要領を普及する。

5 集合訓練

CMAC全体から選出された小隊長、班長等を対象に2月16日～26日の間に、CMACトレーニングセンターにおいて1週間にわたり学科実施後、統合地雷処理実習現場において野外実習を4日間実施した。特に、統合地雷処理について、CMACの指揮官要員に普及・徹底した。

尚、3月9日～19日の間に同様の内容を実施する予定である。

(b) 地雷処理

現在までに処理した面積は96.0ha/200haであり、進捗率は48%である。

(c) 危険回避教育（参考）

事業地近傍の小学校、行政機関等を主対象に機会教育を4回実施した。（参加者626名）地元密着型教育として効果が大きく期待されるため、引き続き実施していく。

別紙第5「危険回避教育実施状況」

(d) 広報（参考）

JICA及びユネスコ協会関係者をはじめ、8回42名の見学者に対応した。

別紙第6「現地見学実施状況」

(イ) 成果を測る指標

「統合地雷処理課程」教育による能力構築支援

(a) 今年度は389名を予定し、現在までの被教育者数は次の通りである。

- 1 課程教育: 教導隊及び1コ機動小隊(隊員28名)の61名
- 2 集合訓練: CMAC全地雷処理小隊各級指揮官の50名

<p>(4) 今後の見通し</p>	<p>(ア) 能力構築支援の教育予行に関し、中間報告現在までは、ほぼ計画通り実施し、所望の成果を収めている。</p> <p>3月は、実習教育を重視し交代する機動小隊の練度を最高度に発揮できるようにしていきたい。</p> <p>さらに、4月からの新たな機動小隊に対する教育に向け教育課目内容の追加、一部見直し及び担任課目の修正等をCMACと調整しつつ実施し、更に質の高い能力構築教育として、「統合地雷処理課程教育」の完成を目指していく。</p> <p>(イ) 今後(3月～9月)予定している被教育者数は、次の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 課程教育: 4月1日に交代する1コ機動小隊の28名 ② 集合訓練: 3月中旬に実施するCMAC各級指揮官の50名 ③ 巡回指導: 10個CMAC処理小隊(全国、任意抽出)の200名 ④ 地雷処理: 裨益世帯数: 1, 167世帯、裨益人口: 5, 904人
-------------------	---